

CO 以外の空気の汚れで、CO 注意報が鳴ったとき

1 ドアや窓を開け、しばらく換気続ける。



2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、注意報が停止する。
※ 警報停止スイッチの操作では、注意報音を止めることはできません。換気を行うなど空気の入れ替えを行ってください。

警報音が鳴ったり、ランプが点灯した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

〈火災警報・CO 注意報共通〉

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 緑香の煙が警報器にかかっていませんか。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤を大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が直接かかっていませんか。
- 長い間閉め切っている部屋に設置していませんか。建材などから発生する成分の作用によって、警報しやすくなることがあります。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 警報器が結露していませんか。

〈火災警報〉

- 湯気が直接かかっていませんか。
- 調理の煙や水蒸気などが警報器にかかっていませんか。
- 砂、ホコリ、虫などが警報器の煙感知部に侵入していませんか。

〈CO 注意報〉

- みりんなどの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。
- ※ 警報作動原因を取り除いてください。（「10. 故障かな? と思ったら」参照）

5. 快適環境おしらせ機能

熱中症について

熱中症とは、高温環境下で、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。

■ 熱中症を引き起こす条件

＜環境＞

- ・気温が高い
- ・湿度が高い
- ・風が弱い
- ・日差しが強い

＜からだ＞

- 激しい労働や運動によって体内に蓄い熱が産生される
- 暑い環境に体が充分に対応できていない

熱中症を引き起こす可能性あり

■ 特に注意を要する事項

- 1 幼児・学童は体温調節機能が未発達であり、適切な水分・塩分の補給は保護者によって行われるため、保護者の対応が不適切になると発症しやすい。
- 2 65 歳以上の高齢者、特に 75 歳以上の後期高齢者は発汗能や口渴感等、体温調節機能が低下する。このために熱中症を発症しやすい。
- 3 肥満者は、より体温が上昇しやすい傾向にあるため、熱中症を発症しやすい。
- 4 仕事や運動（スポーツ）に無理をしすぎる人、頑張りすぎる人は熱中症を発症しやすい。
- 5 基礎疾患（高血圧、心疾患、慢性肺炎患、肝臓病、腎臓病、内分泌疾患など）のある人、寝たきりの人。熱中症の発症を助長する以下のような薬を服用している人。抗コリン作用のある薬（鎮痛薬＊、頻尿治療薬＊、パーキンソン病治療薬＊、抗ヒスタミン薬、抗てんかん薬、睡眠薬・抗不安薬、自律神経調節薬、抗うつ薬、 β 遮断薬、ある種の抗不整脈薬、麻薬）は発汗抑制を来す可能性がある。利尿剤は脱水を来たしやすい。

2 『ウーウーピーッポッピーッポッ』
一酸化炭素を検知しました 危険です 危険です』

と鳴ったときの処置のしかた
【黄(CO 注意報)ランプが点滅】

注意報音の鳴っている部屋にいるときは

△ 危険

注意報が鳴ったら、すぐに換気してください。
CO 濃度が上昇し、短時間で生命に危険をおよぼすおそれがあります。

1 ドアや窓を開けて換気する。



2 CO がなくなれば、注意報が停止する。
【黄(CO 注意報)ランプ消灯】

3 原因を調べる。

- ふとんなどから火災が発生していないか確認してください。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていないか確認してください。

部屋の外から注意報音に気づいたときは

△ 危険

注意報の鳴っている間は、部屋の外から、すぐに入室しないでください。
CO 中毒のおそれがあります。



1 部屋に入らない。
室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気してください。



2 CO がなくなれば、注意報が停止する。

3 部屋に入り、黄(CO 注意報)ランプの消灯を確認する。

処置をしても、注意報音が鳴りやまないときは

販売店まで連絡する。



3 火災やCO 以外で火災警報音やCO 注意報音が鳴ったときの処置のしかた

火災以外の煙で火災警報音が鳴ったとき

〈火災警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを操作してください。警報音が停止します。

※ 警報器周囲の煙が一定濃度以下になっていない場合は、5 分後に再び火災警報を発します。

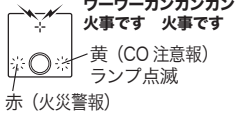
1 ドアや窓を開け、しばらく換気続ける。



2 警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音が停止する。

火災による煙と不完全燃焼による CO が同時に発生したときは

火災による煙と CO を、同時に検知したときも警報を発します。
警報音は火災警報を優先します。
警報停止スイッチを約 1 秒操作すると、CO 注意報音が鳴ります。



故障しているときは

故障していると「ビッビッビッ 警報器故障です」と鳴り、赤（火災警報）ランプが故障点滅します。その後、約 50 秒ごとに「ビッビッビッ、約 1 時間ごとに「ビッビッビッ 警報器故障です」が鳴ります。

このとき、警報停止スイッチを約 1 秒操作すると、「ビッビッビッ 警報器故障です」と鳴った後「ビッビッビッ」は停止します。

※ 「ビッビッビッ」の停止中に警報停止スイッチを再度操作すると、「ビッビッビッ 警報器故障です」と鳴ります。

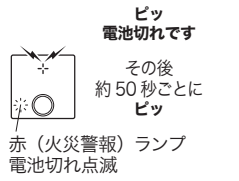
故障状態では煙やCOを検知できず、火災警報・CO 注意報動作をしない場合があります。

※ 電池切れまたは故障お知らせ中でも、煙や CO を検知した場合、火災警報・CO 注意報を発します（煙感知部、CO 検知部が故障している場合を除きます）。

電池が切れたときは

電池切れが近づくとき「ビッ 電池切れです」と鳴り、赤（火災警報）ランプが電池切れ点滅します。その後、約 50 秒ごとに「ビッ」が鳴ります。このとき、警報停止スイッチを約 1 秒操作すると、「ビッ 電池切れです」と鳴った後「ビッ」は停止します。

※ 「ビッ」の停止中に警報停止スイッチを再度操作すると、「ビッ 電池切れです」と鳴ります。



〈自動試験機能〉

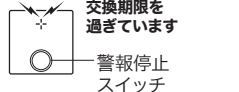
故障または電池切れした場合、自動的に検知し、お知らせします。

おねがい

自動試験機能では、すべての故障は検知できません。
赤（火災警報）ランプが故障点滅していても、1 ヶ月に 1 回程度の点検を行ってください。（「9. 定期点検」参照）

交換期限を過ぎたときは

交換期限を経過してから警報停止スイッチを約 1 秒操作すると、「交換期限を過ぎています」と鳴ります。



4. 警報音が鳴ったときの処置のしかた

1 『ウーウーカンカンカン』
火事です 火事です』

と鳴ったときの処置のしかた
【赤(火災警報)ランプが点滅】または
【赤(火災警報)ランプが点滅と黄(CO 注意報)ランプが点滅】

△ 危険

消火が不可能なときは、避難してください。



火元を確認し、119 番へ通報するなどの適切な処置をしてください。

初期消火



119 番への通報



警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音が止まり、ランプが消灯します。

おねがい

火災以外の煙などで火災警報を発している場合でも、黄（CO 注意報）ランプの点滅の有無を確認してください。
※ 火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声による CO 注意報は発しません。

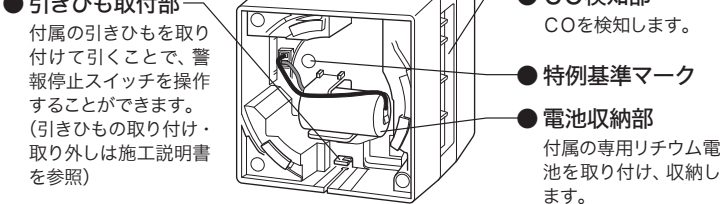
2. 各部のなまえとはたらき

- 煙感知部
煙を感じます。
- 青（乾燥）ランプ
動作の詳細は「5 快適環境おしらせ機能」を参照ください。
- 黄（CO 注意報）ランプ
CO を検知すると点滅します。
- 交換期限記入欄

- 赤（火災警報）ランプ
火災による煙を感じると点滅します。
電池切れしているときは電池切れ点滅、故障しているときは故障点滅を行います。
- 警報停止スイッチ
警報停止スイッチを操作する★と火災警報音を停止させたり、定期点検を行うことができます。
★ 警報停止スイッチを押すこまたは、引きひもを引いて操作することをいいます。

- 検定合格証票
- 形式認証証票
- 引きひも取付部
付属の引きひもを取り付けて引くことで、警報停止スイッチを操作することができます。（引きひもを取り付け・取り外しは施工説明書を参照）

- CO 検知部
CO を検知します。
- 特例基準マーク
- 電池収納部
付属の専用リチウム電池を取り付け、収納します。



■ ランプのつきかたについて

取扱説明書中のランプの点滅は次のように動作します。

点滅	1 秒ごとに 1 回点滅	1 秒 点滅周期
故障点滅	10 秒ごとに 3 回点滅	10 秒 点滅周期
電池切れ点滅	10 秒ごとに 1 回点滅	10 秒 点滅周期

ランプ表示・音声出力の表現している事象一覧表

ランプ		音声内容	事象
赤（火災警報）	黄（CO 注意報）		
消灯	消灯	なし	通常動作（監視中）
点滅	消灯	火災警報音声 「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」	火災警報
消灯	点滅	CO 注意報音声 「ウーウーピーッポッピーッポッ 一酸化炭素を検知しました 危険です 危険です」	CO 注意報
点滅	点滅	火災警報音声 「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」	火災警報と CO 注意報
故障点滅	消灯	故障お知らせ音声 「ビッビッビッ 警報器故障です」（約 1 時間ごと）「ビッビッビッ」（約 50 秒ごと）	故障（警報器が故障診断機能で故障と判断した状態）
電池切れ点滅	消灯	電池切れお知らせ音声 「ビッ 電池切れです」「ビッ」（約 50 秒ごと）	電池切れ（警報器の電池電圧が低下した状態）
消灯	消灯	交換期限切れお知らせ音声 「交換期限を過ぎています」※ 警報停止スイッチを操作した場合	交換期限切れ（警報器の交換期限が過ぎた状態）
点滅	消灯	なし	電源投入から 30 秒間、内部電気回路をチェック中

- ・ 警報ランプは、それぞれ独立して点灯します。
- ・ 警報音は、火災警報を優先しています。

3. 警報器のお知らせ機能について

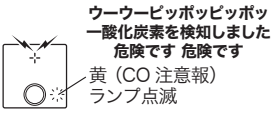
火災による煙が発生したときは

警報器周囲の煙が一定濃度以上になると警報を発します。



住宅で発生する一酸化炭素 (CO) を検知したときは

警報器周囲の CO が規定濃度以上になると注意報を発します。



1. 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

△ 危険

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。

△ 警告

誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

△ 注意

「一般的な禁止」事項を示しています。

△ 危険

火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

- 火元を確認し、119 番へ通報するなどの適切な処置をしてください。
- 消火が不可能なときは、避難してください。

CO 注意報が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

CO 濃度が上昇し、短時間で生命が危険な状態になるおそれがあります。

- 注意報の鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気してください。
- 部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

△ 警告

分解や改造はしないでください。
故障の原因となります。

衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。

警報器の取り付け、取り外し、定期点検、異常時の点検・処置などを行うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。
転落、転倒、落下によるケガのおそれがあります。

定期的に（1 ヶ月に 1 回程度）警報停止スイッチを操作して、警報器が正常に動作するか点検をしてください。

△ 注意

専用リチウム電池のコネクタは確実に差し込んでください。
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあります。

取付位置を移動させないでください。
警報の遅れの原因となります。
取付位置を変える必要が生じたときは、販売店にご相談ください。

警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。
警報の遅れの原因となります。

警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。
聴力障害などの原因になるおそれがあります。

交換期限を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。
正常に動作しないおそれがあります。
交換期限は、本体の交換期限記入欄に示しています。

警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。
故障の原因となります。

引きひもを引いて警報音を停止するとき、および定期点検をするときは、強く引いたり、ぶら下がったりしないでください。
警報器の落下や、ひも切れまたはひもが外れるおそれがあります。

CO 反応式

一酸化炭素検知機能付き
火災警報器

PLUSCO
フ ラ シ ョ

快適ウォッチ

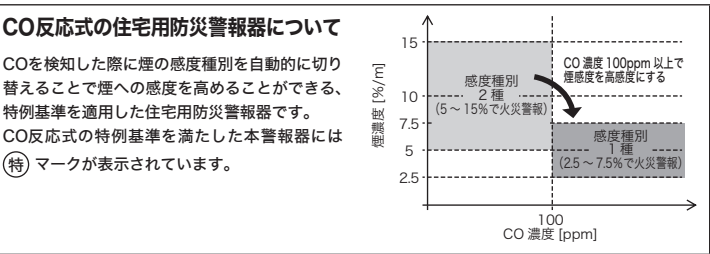
取扱説明書【保証書付】

型式名 SC-745

住宅用防災警報器 (特例基準: CO 反応式) 検定合格品
一般財団法人 日本ガス機器検査協会検査合格品

このたびは、一酸化炭素検知機能付き火災警報器（以下、警報器という）をお取り付けいただきありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
なお、万一、本書を紛失されたときは、販売店にお問い合わせください。

- 消防法で定める住宅用防災警報器として設置できます。
- 消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。
- ガス漏れ検知機能はありません。
- 火災による煙を感じて音声で警報を発する機能や、住宅で発生する一酸化炭素（以下、CO）を検知して音声で注意報を発する機能を持っていますが、火災の発生や住宅におけるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。
- 火災やCOの発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 換気扇などにより煙が吸引され、煙感知部の煙が一定濃度以上にならないときや、CO検知部にCOが到達しないときは、警報機能が働きます。
- お取り付けたいた部屋、廊下などの部分的な検知になります。
- 万一の火災やCOの発生に対してより効果を発揮させるためには、必要に応じて複数の場所にお取り付けたいただくことをおすすめいたします。
- 熱中症おしらせは、警報器周囲の環境条件から熱中症注意の目安を示し体調管理などにお役立ていただくもので、熱中症防止できるものではありません。
- 乾燥おしらせは、警報器周囲の環境条件から空気の乾燥をお知らせし健康管理などにお役立ていただくもので、乾燥によるインフルエンザなどを防止できるものではありません。



新コスモス電機株式会社	
本社	〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中 2-5-4 (06)6308-2310
〔北海道〕	札幌 (011)231-1101
〔東北〕	仙台 (022)235-0081
〔関東〕	東京 (03)5403-2707
〔中部〕	名古屋 (052)365-1301
〔関西〕	大阪 (06)6308-2310
〔中国・四国〕	岡山 (086)435-5087
〔九州〕	福岡 (092)568-2800

保証書

本書はお取り付け日から下記期間中に故障が発生した場合に、本書記載の内容で無料による交換をお約束するものです。

警報器型式 SC-745

保証期間 お取り付け日から 5 年間

お取り付け日	年	月	日
お客さま	ご住所		
	お名前	様	
	電 話 ()	-	
	住所・店名		
販売店	電 話 ()	-	

(販売店まで必ず各欄に記入して、お渡してください)

新コスモス電機株式会社
TEL (06) 6308-2310 (代) (裏面もご覧ください)

興奮剤・覚せい剤は代謝を亢進させる。多くの抗精神病薬※は体温調節中枢を抑制する可能性がある。

※ 医薬品添付文書に、「発汗（あるいは体温調節中枢）が抑制されるため、高温環境では体温が上昇するおそれがある」と記載のあるもの。

- 発熱、下痢、二日酔い等、体調不良の場合は発症しやすい。
- 農作業、安全対策作業等で厚着、安全服等で全身を覆う場合。
- 急激に高温となった場合（例えば 6 月以前）。また、日常生活で高温暴露の経験が少ない場合、旅行や移動（涼しい場所から高温の場所へ）の場合および気象変化などで急激に高温となった場合など。

出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.3 より

熱中症予防のための水分補給について

■水分・塩分補給の目安

- 日常生活における水分補給：基本的に、不感蒸泄や発汗による水分の補給が必要である。睡眠時、入浴時にも発汗する。就寝前、起床時、入浴前後にコップ一杯（約 200ml）の水分を補給する。日中はコップ半分程度の水分を定期的に（1 時間に 1 回程度）補給する。のどの渇きを感じる前に水分補給を心掛ける。特に高齢者は口渇感等の感覚が衰えており、十分に注意する必要がある。
- 運動時や作業時の補給：水分の補給量は体重減少量の 7～8 割程度が目安となる。体重の 2％以上の脱水を起こさないよう注意する。大量に発汗する運動時や作業時には水分と同時に塩分補給が重要である。0.2％程度の塩分を含む水分を補給するよう掛ける。
作業前：コップ 1～2 杯程度の水分・塩分を補給する。
作業中：コップ半分～1 杯程度の水分・塩分を 20～30 分ごとに補給する。
作業後：30 分以内に水分・塩分を補給する。
- 飲酒時の補給：アルコールは利尿作用が強く、飲酒量以上の水分を排泄するので、飲酒後は、水分を十分に補給する。
- 空調装置使用時の補給：室内は空気が乾燥することから、気がつかないうちに脱水が生じる。こまめに水分を補給する。

出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.3 より

熱中症予防の指針について

熱中症は気温が低くても、湿度が高くなると危険性が高くなります。日常生活における熱中症予防指針では、熱中症指標（WBGT）として「危険」、「厳重警戒」、「警戒」、「注意」の 4 通りで危険度をランク分けしています。

■日常生活における熱中症予防指針

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28℃以上 31℃未満)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25℃以上 28℃未満)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.3より

■熱中症指標（WBGT）と気温、湿度の関係

		相対湿度 (%)																					
		20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100					
気温 (°C) (乾燥温度)	40	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44					
	39	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43					
	38	28	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42					
	37	27	28	29	29	30	31	32	33	35	35	35	36	37	38	39	40	41					
	36	26	27	28	29	29	30	31	32	33	34	34	35	36	37	38	39	40					
	35	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	38	38					
	34	25	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	37					
	33	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	32	32	33	34	35	35	36					
	32	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	31	32	33	34	34	35					
	31	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	30	30	31	32	33	33	34					
	30	21	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	29	30	31	32	32	33					
	29	21	21	22	23	24	24	25	26	26	27	28	29	29	30	31	31	32					
	28	20	21	21	22	23	24	24	25	25	26	27	28	28	29	30	30	31					
湿度 (%) (乾燥湿度)	27	19	20	21	21	22	23	23	24	24	25	25	26	27	27	28	29	29	30				
	26	18	19	20	20	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27	28	28	29	30				
	25	18	18	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28	29				
	24	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27	28				
	23	16	17	17	18	19	19	20	20	21	22	22	23	23	24	24	25	25	26				
	22	15	16	17	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	23	24	24	25				
	21	15	15	16	16	17	17	18	19	19	20	20	21	21	22	23	23	24	24				
			WBGT値		注意		警戒		厳重警戒		危険												
					25℃未満		25℃以上28℃未満		28℃以上31℃未満		31℃以上												

出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.3 より

熱中症おしらせ機能

警報器周囲の温度・湿度が規定値以上になるとお知らせします。

＜お断り＞

- 温度、湿度の組み合わせから得られる目安を表示するものです。個人差、体調により感じ方が異なる場合があります。
- 警報器から離れた場所や屋外では表示できません。
- 公的機関から発表される「注意」「警戒」と一致しない場合があります。
- 電池切れ警報中または故障警報中は、ランプ表示と音声鳴動を行いません。
- 電源投入後 1 時間以内は、熱中症おしらせを行いません。

基準暑さ指数 (WBGT値)	ランプ表示	熱中症おしらせ動作	症状・対策
危険 (31℃以上)	橙点滅 (60秒に 1回)	点滅から 10 分後「ポーン 部屋がたいへん暑くなっています 熱中症に注意しましょう」と鳴ります。 橙 (熱中症) ランプ点滅がさらに継続した場合、30 分後と 60 分後にも上記と同じフレーズになります。それ以降は橙 (熱中症) ランプ点滅のみで音声は発しません。 ※ この状態で警報停止スイッチを押すと熱中症おしらせの音声が鳴動します。 以降、音声は停止します。	熱中症の危険があります。 特別な場合以外はすべての運動を止めて、体温の上昇に注意し、十分な休息と水分補給を行ってください。
厳重警戒 (28℃以上～ 31℃未満)	橙点滅 (60秒に 1回)	※ この状態で警報停止スイッチを押すと熱中症おしらせの音声が鳴動します。	熱中症の危険が高まっています。 激しい運動は避けて、積極的に休息と水分補給を行ってください。

- 警報器周囲が適切な温度環境になるとおしらせ状態は自動的に解除されます。

「乾燥について

湿度が低くなるとインフルエンザウイルスの繁殖は活発になります。加湿器などで室内の湿度を調整しながら乾燥を防ぐことが必要となります。

■絶対湿度とインフルエンザ予測

絶対湿度	
11g/m ³ 以下	インフルエンザの流行が始まる湿度
7g/m ³ 以下	インフルエンザの流行が大きくなる湿度

日本におけるインフルエンザの流行予測 地球環境Vol8 No2.165-174(2003)より

・絶対湿度：空気中に含まれる水蒸気量

■温度と湿度の管理について

冬

■冬は乾燥に注意

冬は乾燥しやすい季節です。乾燥した状態が続き、湿度が低くなるとインフルエンザウイルスの繁殖が活発になります。加湿器などで室内に適度に調整しましょう。

夏

■クーラー病に注意

ルームエアコンの普及により冷やしすぎが多いようです。冷やしすぎるとクーラー病にかかりやすくなります。内気温と外気温の差は 5℃前後が目安です。冷やしすぎに注意しましょう。

「乾燥おしらせ機能

警報器周囲の温度・湿度が規定値以下になるとお知らせします。

＜お断り＞

- 絶対湿度や温度等から推測される季節性インフルエンザのウイルスの生存しやすさを表示するもので、ウイルスの存在を断定するものではありません。
- 新型インフルエンザには対応していません。
- 電池切れ警報中または故障警報中は、ランプ表示と音声鳴動を行いません。
- 電源投入後 1 時間以内は、乾燥おしらせを行いません。

基準	ランプ表示	乾燥おしらせ動作	症状・対策
絶対湿度 [7g/m ³ 以下] 温度 [30℃未満]	青点滅 (60秒に 1回)	※ この状態で警報停止スイッチを押すと乾燥おしらせの音声「ポーン 部屋が乾燥しています 加湿しましょう」が鳴動します。 徹底し、加湿器などを併用し、加湿器などを使って、適切な湿度 (50～60％) を保ってください。	インフルエンザウイルスに感染する危険があります。 手洗い・うがいを徹底し、加湿器などを使って、適切な湿度 (50～60％) を保ってください。

- 警報器周囲が適切な湿度環境になるとおしらせ状態は自動的に解除されます。

おしらせ切り替え機能

快適環境おしらせ機能の初期設定では、熱中症（危険、厳重警戒）・乾燥を全ておしらせします。

警報停止スイッチを約 10 秒操作することで、熱中症（厳重警戒）・乾燥のおしらせを行わないよう設定を切り替えることができます。

- ① 警報器が警報動作中や警報音停止中ではないことを確認してください。
- ② 警報停止スイッチを約 10 秒操作してください。
「ピッ ピッピッ ピッピッピッ ポーン」と鳴ります。
- ③ 警報停止スイッチから手を離してください。設定が切り替えられ、熱中症おしらせ「危険」のみのおしらせになります。

		【初期設定】 おしらせを全て表示	【切り替え後】 熱中症おしらせ「危険」のみおしらせ
熱中症おしらせ	危険	橙 (熱中症) ランプ表示と音声でおしらせ 橙 (熱中症) ランプ点滅	ポーン 部屋がたいへん暑くなっています 熱中症に注意しましょう 橙 (熱中症) ランプ点滅
	厳重警戒	橙 (熱中症) ランプ表示でおしらせ 橙 (熱中症) ランプ点滅	ランプ表示なし、音声なし +
	乾燥おしらせ	青 (乾燥) ランプ表示でおしらせ 青 (乾燥) ランプ点滅	ランプ表示なし、音声なし +

※ 設定切り替え後、再度警報停止スイッチを 10 秒間操作すると、「ピッ ピッピッ ピッピッピッ ポーンポーン」と鳴り初期設定に戻すことができます。

快適環境おしらせ動作確認機能

■初期設定の場合

- ① 警報器が警報動作中や警報音停止中ではないことを確認してください。
- ② 警報停止スイッチを約 6 秒操作してください。「ピッ ピッピッ ピッピッピッ」と鳴ります。
- ③ 警報停止スイッチから手を離してください。
 - 1) 橙ランプが点滅し「ポーン 部屋がたいへん暑くなっています 熱中症に注意しましょう」と鳴ります。
 - 2) 青ランプが点滅し「ポーン 部屋が乾燥しています 加湿しましょう」と鳴ります。

■切り替え後の場合

- ① 警報器が警報動作中や警報音停止中ではないことを確認してください。
- ② 警報停止スイッチを約 6 秒操作してください。
「ピッ ピッピッ ピッピッピッ」と鳴ります。
- ③ 警報停止スイッチから手を離してください。
橙ランプが点滅し「ポーン 部屋がたいへん暑くなっています 熱中症に注意しましょう」と鳴ります。

6. 殺虫剤（くん煙・くん蒸・噴射式）を使用するときは

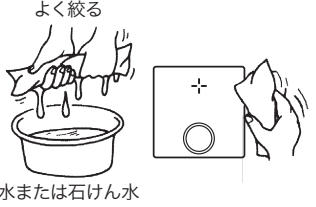
殺虫剤を使用する際は、警報器を取り外し殺虫剤がかからない場所に置か、ポリ袋で覆ってください。誤作動のおそれがあります。
噴霧が終わったら、換気後、必ず元の位置に戻してください。
また、ポリ袋で覆った場合は必ずポリ袋を取り除いてください。

7. お手入れのしかた

警報器側面のスリット（煙感知部）にホコリやくもの巣がつくと、正しく警報しない場合があります。
警報器がより良い状態で動作するようにお手入れをおすすめします。

- ① 警報器を取り外してください。
（「8. 警報器の取り外し・取り付けかた」参照）

- ② 警報器および取付部付近の壁面または天井面の汚れをふき取ってください。
布を水または石けんに浸し、よく絞ってからふき取ってください。



水または石けん水

- ③ 本体の表面がよく乾いてから取り付けてください。
（「8. 警報器の取り外し・取り付けかた」参照）
- ④ 本体を取り付けてから、正常に動作することを確認してください。
（「9. 定期点検」参照）

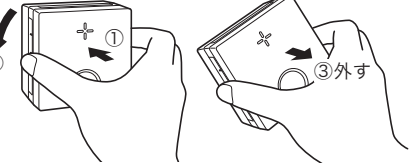
おながい

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどを使うと、警報器本体の表面を傷めることがありますので使用しないでください。
- お手入れ後、煙感知部に異物（糸くず、水など）が残っていないか確認してください。

8. 警報器の取り外し・取り付けかた

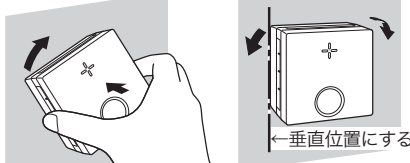
取り外しかた

押し付けながら、左（反時計回り）に止まるまで回す。
※ 取付ねじ 1 本で引っ掛けて取り付けている場合は本体を持ち上げて取り外してください。



取り付けかた

本体を押し付けながら、右（時計回り）に回して警報器を固定した後、少し左右に回転させて角度を微調整し、警報器を垂直位置にする。
※ 角度の微調整の際、警報器を左（反時計回り）に回し過ぎて、「カチッ」と音しがした場合は、警報器が外れているおそれがあります。
※ 取付ねじ 1 本で引っ掛けて取り付けている場合は取付板の引っ掛け穴を引っ掛けて取り付けてください。



9. 定期点検

正常に動作することを確認するために、1 ヶ月に 1 回程度定期点検を行ってください。

⚠警告

1 週間以上留守にされたときは、必ず警報器が正常に作動するか点検をしてください。

留守中の電池切れ警報を、確認できないおそれがあります。

- ① 警報器が火災警報・CO 注意報動作中や警報音停止中ではないことを確認してください。
- ② 警報停止スイッチを約 1 秒操作すると「ピッ」が鳴りますので、警報停止スイッチから手を離してください。
 - 1) 全てのランプが点灯し、「警報器正常です」と鳴ると正常です。
 - 2) 過去 10 日以内に警報など（火災警報、CO 注意報、故障お知らせ、電池切れお知らせ）があった場合、最後に発した警報をランプ表示でお知らせします。
（下記、「鳴動原因表示機能」参照）
※ 橙（熱中症）ランプまたは青（乾燥）ランプが点滅しているときに警報停止スイッチを押すと、「警報器正常です」のあとに熱中症おしらせまたは乾燥おしらせの音声が鳴ります。

＜鳴動原因表示機能＞

警報など	赤（火災警報）ランプ	黄（CO 注意報）ランプ
火災警報	1 秒点灯	—
CO 注意報	—	1 秒点灯
故障お知らせ	1 秒間に 3 回点滅	—
電池切れお知らせ	1 秒間に 3 回点滅	—

※ 電源投入後約 25 分間は、この機能が働きます。

※ 警報器が電池切れまたは故障している場合、この機能は動きません。

10. 故障かな？と思ったら

交換などを依頼される前に、次の点検および処置をしてください。
下記の点検・処置をしても異常があるときは、販売店にご連絡ください。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
火災や CO が発生していないのに、警報音や注意報音が鳴る。	火災以外の煙や、CO 以外の空気の汚れが原因ではないですか？ （「警報音が鳴ったら、ランプが点灯した原因について」参照）	室内を換気してください。頻繁に警報する場合は、取付場所に問題がある可能性があります。販売店にご連絡ください。
	煙感知部に煙が残っていたり、砂やホコリ、虫などが入っていませんか？	煙感知部にうちわ、ドライヤー（冷風）などで風を送り、砂やホコリ、虫などを取り除いてください。それでも停止しない場合は専用リチウム電池を抜き、販売店にご連絡ください。
約 10 秒ごとに赤（火災警報）ランプが点滅する。約 50 秒ごとに「ピッ」または「ピッピッピッ」が鳴る。	警報停止スイッチを操作したとき、「ピッピッピッ」のメッセージが鳴りませんか？	警報器の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。 （「3. 警報器のお知らせ機能について」参照）
	警報停止スイッチを操作したとき、「ピッ 電池切れです」のメッセージが鳴りませんか？	専用リチウム電池が消耗しています。販売店にご連絡ください。 （「3. 警報器のお知らせ機能について」参照）
警報停止スイッチを操作しても動作しない。	引きひもが正しく取り付けられていますか？	施工説明書の「引きひもの取り付けかた・取り外しかた」を参照し、正しく取り付けてください。
	専用リチウム電池が確実に取り付けられていますか？	電池コネクタを確実に接続してください。（それでも動作しない場合は、販売店にご連絡ください。）
	専用リチウム電池が切れていませんか？（電池切れ警報をしてみてくださいか？）	販売店にご連絡ください。

電池が切れているとき、またはリチウム電池を取り外した状態で煙や CO を検知できず、火災警報・CO 注意報動作をすることができませんので注意してください。

11. アフターサービスについて

- この警報器の保証期間はお取り付け日から 5 年間です。保証書をご参照ください。保証書にお取り付け日、販売店名の記入のないものは、無効となる場合があります。お取り付け時にご確認ください。
- 保証書は大切に保管してください。
- 交換期限は機器本体に表示しています。お取り付け時にご確認ください。
- 警報器に異常がある場合は、交換などを依頼される前に「10. 故障かな？と思ったら」の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常がある場合は販売店にご連絡ください。
- 設置場所の環境や点検頻度などにより、電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池切れになったときは、販売店にご連絡ください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店までご連絡ください。
- 引越しをされるときは、販売店までご連絡ください。

12. 廃棄について

警報器を廃棄する場合は、お住まいの市町村の廃棄物の処理方法に従ってください。
※ 必ず専用リチウム電池を取り出して廃棄してください。

古くなった専用リチウム電池の取り外しと廃棄

- ① 警報器を取り外してください（「8. 警報器の取り外し・取り付けかた」参照）。
- ② 専用リチウム電池を取り出してください。
- ③ 専用リチウム電池を廃棄してください。
※ この製品に使用している電池は、「一次電池（リチウム電池）」です。
一般の不燃ゴミとして廃棄できますが、廃棄方法は各自治体の指示に従ってください。

⚠警告